

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	ベトナムキャリア実習
-----	------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	
図書費・学用品費	300 円	
携帯・インターネット費	5000 円	
現地通学費	15000 円	(研修先まで 30 分)車利用
教養娯楽費	40000 円	
被服費	20000 円	
雑費	10000 円	
その他	円	例:
合計	130300 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
現金: カードが使えないところが多い。
Grab(タクシー)をみんなで乗り合わせたり、外食でシェアしたりする際に現金が必要になってくるから。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
SIM カード

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
シャンプー・リンス(ホテルについていなかった)インスタントの食料・ドレッシング(味付けが合わないことが多くあった/食費を浮かせる)

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: 国際連携事務室 ルームメイトの私物の盗難)
特記事項: 現地のスリ対策だけでなくホテルなどのプライベートな場でも、私物、貴重品の自己管理は怠ってはいけません。

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
コーディネーターの方や現地のパディがそのつど教えてくれた。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
・ahamo の海外通信プランは電波が悪く使えない。
・ホテルの WIFI は弱い

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数2 人)

3)共有部分
☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
ルームメイトからの盗難にも注意すること。 ものの管理や、貴重品の所持の把握を徹底して行なうこと。 ものを貸したり、あげたりする際も先のことを考えて慎重に行なうこと。

プログラムについて プログラム参加前について記載してください
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
留学には興味があったものの、長期の留学はハードルが高く、さまざまなプログラムを検討していた。 そこでこの5週間のプログラムを見つけ、語学研修ではなくインターンができるというところに惹かれて申し込んだ。
2)参加するにあたっての目標はありますか。
自分自身明確な将来着きたい業種が決まっておらず、興味のある業種がどのような仕事をするのかも深く理解できていなかった。 このプログラムを通して海外で働くことを体験するだけでなく、実際に働いて仕事の理解を深めることを目標にした。
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
マーケティング

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)どのような業界で実習を行いましたか。
アカウントマネジメント
2) 主要な実習内容を記載してください。
留学のコーディネートをを行っているような教育機関に就業し、他の留学できている日本人学生の授業を観察し、それをもとにインタビューをした。それをまとめて報告を含め、授業の改善点や提案をプレゼンした。
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。
元々私が知らなかった業種だったので、とても新鮮だった。 職場の雰囲気は日本よりもとてもフレンドリーで、親密で働きやすかった。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
最初のプログラムされている実習内容はゆとりがありすぎるように感じたが、日を重ねるごとにたくさん仕事を振ってくださって、充実した実習ができた。 就業先によって交通費に大きな差があるため、交通費均等にするか、サポートをしてほしい。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。
これからのFPTの留学コーディネートに貢献できたと思う。



英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

・TOEIC 620 点

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

TOEIC の勉強と、英語の動画を聞き流して、耳を英語に慣らした。

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

・カフェに入るとよく、現地の方だけでなく海外の方が話しかけてくれたから、チャンスだと思って、できるだけ会話ができるようにコミュニケーションをとった。職場や、買い物、飲食店でも人まかせにせず自分から話しに行くことを心がけた。
日本にいた時に比べて、実践ができるから楽しく、英語を躊躇わずに話せるようになった。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

カフェに行った時、現地の方や海外の方が話しかけてくれて、フレンドリーな人が多かった。
職場の雰囲気が日本よりもより親密でフレンドリーだった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

キャリア実習を終えて自分が成長したなと実感することがたくさんありました。週末にプログラムしてくださっていたツアーでベトナムの文化やベトナム料理をたくさん体験でき、知らなかったことをたくさん知ることができました。
最初はとても緊張していったインターンでは、まず職場の方や、メンターさんがとても親切で働きやすい雰囲気で安心しました。今回私が就業した先は業種的にはマネジメントですが教育機関の中の留学をコーディネートするような部署でした。私が今まで考えたことがなかった職業を体験できより視野が広がりました。
職場は英語が使われるため語学力が伸びたのはもちろんですが、プレゼンテーションスキルやソフトウェアの使い方も習得できました。
生活面では、2 人ひと部屋のホテル生活などで共同生活を体験でき、お金や貴重品の自己管理の大切さを学びました。
この実習で、文化の学びや、語学の成長がでただけでなく、1 人で何かする力や、挑戦してみる精神、思いやりなど人間性の部分でも成長を感じられることができました。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	ベトナムインターンシップ
-----	--------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	32,000 円	ローカル店であれば 1 食 300 円～
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	2,500 円	現地購入 SIM
現地通学費	17,000 円	タクシーで通学、2 人で割り勘(研修先まで 車で 20 分)
教養娯楽費	48,000 円	ツアー代、連休中の旅行含む
被服費	17,000 円	現地で購入した洋服やアオザイ
雑費	17,000 円	お土産代
その他	4,500 円	例: ネイル、歯医者
合計	138,000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 始めに空港で 2 万円両替後、足りなくなったらその都度両替した(計 5 万円両替) その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください 現金、VISA、Master(食事やタクシー代は割り勘することが多いので現金多めを勧める)
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 始めに空港で 2 週間のものを購入、その後ホテル近くで 1 カ月のものを購入
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか ウエットティッシュ、薬、ボディスポンジ、ハンガー、日本のお菓子(就業先やパディたちへのプレゼント)、お茶(日本食が恋しくなった時用)

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) ☐ なし ☒ あり(問題の内容や相談した人等: 東京海上日動) 特記事項: 現地の歯医者に通院、航空券のキャンセル
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ 貴重品は肌身離さず持ち歩いていた。またスマホもストラップを付けて持ち歩いていた。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 最初全員同じタイミングで、空港に売っている SIM を購入しましたが、切れるタイミングがバラバラで不思議だった。ホテルの wi-fi は不安定だった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 ☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	2) 部屋の形態 ☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2 人)
3) 共有部分	

☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) ホテルは部屋が広めでした。コップは使用後も 1 カ月間替えてもらえないので自分で洗う必要があった。また部屋の金庫が壊れていたためスーツケースに貴重品をしまっていた。1 カ月間共に過ごすルームメイトには気を使い、お互い気持ちよく過ごせるように意識すると良いと思う。

プログラムについて プログラム参加前について記載してください
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。 語学研修とインターンシップの両方を体験することができたため。以前語学留学を経験したため、今度は就業プログラムを経験したいと考えていたため、企業にインターンとして参加できる本プログラムに参加した。
2)参加するにあたっての目標はありますか。 ・ 語学力向上とビジネススキルを身につけたい ・ 英語で話しかけることに対して自信を付けたい
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。 マーケティング 語学力(韓国語)が活かせる業界

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)どのような業界で実習を行いましたか。 大学
2) 主要な実習内容を記載してください。 ・ 韓国の教育プログラムに関するリサーチ、日本の文部科学省が行っている教育プログラムに関するリサーチ ・ 他大学の授業見学 ⇒Excel シートにまとめる、Canva で資料作り、workshop を行った
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。 マーケティングはリサーチがメインということを知っていたので、予想とのギャップはほとんどなかった。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。 プログラム内容について、ほとんど満足している。私は韓国に留学した経験があり、仕事内容で韓国語も使いたいと話したら韓国の教育プログラムに関するリサーチの仕事を貰えたのでやりがいに感じた。 しかし、1 日にもらえる仕事量が少ないと感じた。そのため、仕事の進捗具合を 6 割程度で報告し、次の指示を早くもらえるように意識した。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。 大きく分けて 3 つある。 1 つ目はテクニカルスキルだ。研修を通してビジネスメール、エクセル、リサーチ、Canva、プレゼンテーションスキルなどを学んだ。 2 つ目はコミュニケーションスキルだ。特にオープンなコミュニケーションの重要性を感じた。 仕事をする上で重要だと感じたのは以下の 4 点である。 ・ 質問を放置しないこと ・ 説明を求めること ・ 重要な情報はメールで送ること ・ 積極的に次の仕事を依頼すること これらのコツのおかげで、予定していなかった仕事も任せられるようになった。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC IP : 750

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

毎週英会話のクラスを取って、英語を話す習慣をつけた。また、ラジオ英会話も聞いていた。

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

1 週目に行ったビジネスイングリッシュの授業内容では、自分の意見を論理的に述べることを意識して発言した。ベトナム人のバディたちとディスカッションする機会が多く、発表も毎日あったので、プレゼンテーションスキルが身に付いた。また授業内で基本的なビジネススキルの講義もあったためノートにメモし、就業中に活用していた。

就業先の FPT Education Global の上司・同僚たちはみんな英語が流ちょうであったため、自身の英語力不足に自信を無くすことが多々あった。そのため英語力を向上させるために、とにかく職場で社員の人や現地インターンシップ生と交流することを心掛けた。初めはうまく聞き取れず、何度も聞き返したが、諦めずに毎日続けていくことで、最後の方にはスムーズにコミュニケーションをとることができた。自分からコミュニケーションを取る姿勢を見せれば、現地の人は気にせず話しかけてくる。私はあまり英語が得意ではなかったのに、どんなに聞き取れなくてもどんなにうまく英語で話せなくても、表情やスピードを意識して会話をしてコミュニケーションを図ることを意識していた。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

「交通」

ベトナムはとても交通量が多いが、歩行者用信号が機能していないことが多々あった。そのためバイクや車を避けて、信号が機能していない道を渡る必要があり、慣れないうちはとても苦労した。また交通量が多いため、排気ガスのせいで気分が悪くなることも多かった。バイクに乗る際必ずマスクを付け、長時間乗らないように気を付ける必要がある。

「食事」

日本と違い、水や生野菜でお腹を下すことがとても多い。現地の店(低価格帯)、ナイトマーケットなどは衛生状態がよくないため、飲み物、生野菜に気を付けるべきである。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

インターンシップを通して3つの重要な学びを得ることができました。

1 つ目はコミュニケーションスキルです。特にオープンなコミュニケーションの重要性を感じました。仕事をする上で以下の4点が大切だと感じました。①分からないことを分からないと伝えること②重要な情報はメールで送ること③積極的に次の仕事を依頼すること。これらの取り組みのおかげで、予定されていなかった仕事(日本向けパンフレットの翻訳、追加のリサーチ)も任せられました。

2 つ目は積極性です。可能な限り自分から会話を始めることが大切だと思いました。最初は英語を聞くだけで精一杯でしたが、慣れてくると質問もできるようになりました。分からないことをそのままにしておくと、後々大きな問題に発展することもあるので、分からないことはきちんと伝えることが大切だと強く感じました。

3 つ目は人に頼ることの大切さです。私は元々人に頼ることが苦手で、何でも一人でやってしまいがちな性格です。しかし、このプログラムではいくつかの問題、例えばホテル設備の故障、SIMカードのトラブル、体調不良、航空券手配トラブルなどがありました。そんな時に現地のコーディネーター、バディ、後輩たちを頼ることで問題を解決することができました。そのため、次の2つを心がけたいと思います。①分からないことは素直に聞くこと②自分で確認するだけでなく、仲間に聞き、みんなで確認すること。

このプログラムが、私の今後の人生に大きく影響を及ぼしてくれたと感じています。私は、4年生でこのプログラムに参加したため、何かと先輩として頼られ、リーダーシップを発揮する場面が多くありました。自分から食事に誘ったり、悩み相談に乗ったり、そういった関わりを通してより積極性を身につけることができたと思います。今後の学生生活・そして社会人になった際のチームワークやコミュニケーションに役立てていきたいです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	海外キャリア実習(ベトナム FPT 大学)2024年夏季
-----	------------------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	45,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	15,000 円	
現地通学費	2,000 円	(研修先まで車で10分)
教養娯楽費	1,500 円	博物館など
被服費	0 円	
雑費	1,000 円	洗濯
その他	60,000 円	例:フエ観光、チャム島、バラセーリング、ダナン観光、ハノイ旅行など
合計	124,500 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 現地 その他用意したもの: ☐ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください 観光客向けのお店はカードが使えました。ただ食事は割り勘をすることが多かったので、思っていたより現金を使いました。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 日本でルーターを借りました。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか 洗濯ばさみが付いている小さめのラック

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) ☒ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか? スマホにショルダーをつけていきました。犯罪には巻き込まれなかったです。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 電話は使えませんでした。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類 ☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	2) 部屋の形態 ☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 1人)
3) 共有部分	

☒バス ☒トイレ ☐キッチン(☐自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

虫がでるので苦手な人は殺虫剤などがあるといいと思います。洗濯はホテルより近くのランドリーのほうが安かったです。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

英語力向上
就職活動をするにあたって、自分のやりたいことや向いていることを見つけるため。

2)参加するにあたっての目標はありますか。

英語でのコミュニケーションをスムーズにする。
ベトナムを楽しむ。

3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

特になし

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。

マーケティング

2) 主要な実習内容を記載してください。

ダナンにあるホテルに対してのマーケティング。マーケティングの知識や方法を教えていただいた後に、課題をやる流れでした。

3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。

服装が自由でした。イメージより英語を使う機会は少なかったです。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

私の実習先ではマーケティングの知識を説明するところから始まったため、初心者でもちゃんと課題をやることができました。会社のあとや週末など、フリーの時間が思っていたよりあったため、たくさん観光できました。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

マーケティングの知識が身に付きました。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC 740 程度

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

とくになし

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

ベトナムの方の独特のなまりがあったので、何度も確認して思い違いが起きないようにしました。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

バイクの交通力が多く、はじめは道路を渡るのが怖かったです。だんだん慣れて渡れるようになりました。Grab というアプリでタクシーを呼べたり、ご飯を買って届けてもらえたりするのでとても便利でした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私はマーケティング系のインターンシップに参加しました。マーケティングについての知識や経験が得られたのでとても満足しています。ただ、個人での作業が多かったため、英語をたくさん話して仕事をしたいという方はホテルなどのホスピタリティ分野をお勧めします。ベトナムでインターンシップをしたことで、海外で働くということや仕事をする上での自分のモチベーションなどがわかり、とても有意義だったと思います。1 週目は大学の講義をうけるため、通学する留学の体験もできます。週末にホイアン、フエなど近くの都市に観光にいき、とても楽しかったです。食事の衛生面で心配がありましたが、きちんとお店を選べば大丈夫でした。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	海外キャリア実習(ベトナム FPT 大学)
-----	-----------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 55,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	約 3,000 円	ESIM2,000 円＋現地購入 SIM975 円
現地通学費	約 3,500 円	(研修先までタクシーで3分)
教養娯楽費	約 23,000 円	
被服費	約 18,000 円	
雑費	約 17,000 円	お土産代など
その他	約 9,000 円	例:通勤時以外の交通費
合計	約 128,500 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港での両替、ジュエリーショップでの両替
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
途中クレジットカードがエラーで使えなくなってしまったため、クレジットカードは複数枚持っていくか、スマホに登録しておくことをお勧めする
空港での両替はレートが低いため、少額のみ両替した方が良いと思う
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
ESIM と現地 SIM
ESIM は回線が悪く不便だったので、圧倒的に安い現地 SIM を購入した方がよいと思う
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
折り畳みハンガー

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: 現地のコーディネーターの方)
特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
事前オリエンテーションで現地の危険情報について学んだ。 盗難対策として、スマホにハンドストラップを付ける、財布にチェーンを付ける等をした。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
ESIM は街中でもインターネットに頻繁に接続できなくなり非常に不便であったが、現地 SIM は基本的に快適に使用できた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2 人)

3)共有部分
☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
今回滞在した Gemma Hotel はホテル自体の設備は古いように感じたが、毎日クリーニングが入ってくれるので快適に過ごせた。滞在中部屋にアリが発生したこともあったが、現地のコーディネーターの方がホテルのスタッフに殺虫剤を撒くよう頼んでくれ、無事解決した。何か問題があった際はまずコーディネーターの方に相談するのがいいと思う。

プログラムについて プログラム参加前について記載してください	
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。	英語力向上
2)参加するにあたっての目標はありますか。	初めての環境でも自分から積極的にコミュニケーションをとる
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。	ホテル

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1)どのような業界で実習を行いましたか。	ホテル
2) 主要な実習内容を記載してください。	・朝食時の見回り ・手荷物の預かり ・チェックイン、チェックアウトの手伝い ・ドアマン ・日本人のお客様の電話対応 ・ウェルカムカードの準備
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。	仕事内容について、勤務前はチェックインやチェックアウト業務のイメージしかなかったが、想像以上に多岐に渡っていた。また、スタッフは朝食会場やエレベーターなどで宿泊客に進んで話しかけており、日本よりもスタッフと宿泊客の距離が近いように感じた。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。	良かった点としては、お客様との会話を通してコミュニケーション能力の向上を感じられた点が挙げられる。また、日本人のお客様が怪我をした際に、通訳のような役割として病院に付き添うなどと滅多にない経験を得られたことも良かったと思う。 悪い点としてはチェックイン・アウトの時間が最も忙しく、それ以外の時間は暇なこともあった点が挙げられる。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。	時期的に多くの日本人宿泊客がおり、お話をすることで自身のコミュニケーション能力を伸ばすことができたと思う。また、朝食の際に宿泊客からフィードバックを聞く際には、日本語と英語で自分から話しかけるという経験を通して、自分から積極的に動くという経験を得ることが出来た。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC780 点

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

ポッドキャストで英語でニュースを聴いていた

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

スタッフの方とは勤務中に出てきた疑問や日本人宿泊客の方の要望を伝える際に頻繁に話す機会があり、英語力の向上に繋げることが出来たと思う

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

日本で自転車を使う感覚で現地の方々はモーターバイクに乗っていたことが印象に残った。道路では歩行者よりもバイクや車が優先され、歩行者はその間を縫うように道路を渡らなければならなかったのが衝撃的だった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

今回ベトナム研修に参加し、FPT 大学でのプログラム、就業体験、観光など今までで最も充実した約 1 ヶ月を過ごせたと感じている。ベトナムに行く前はトイレが流せない、水道水が日本ほど綺麗ではないなどの違いや、犯罪に巻き込まれないかなど生活に適應できるか不安だったが、ダナンは観光客が多いため治安も良く、交通量も想像より少なかったため過ごしやすかった。また就業体験では、自分の考えや意思を言葉で伝えなければ仕事は何も回って来ず、1 日中同じことをしている日もあった。しかし、そのような経験を通して自分から動くことの大切さや積極性を学ぶことが出来た。今回海外に行くのは初めてであり、参加するまでは不安と緊張でいっぱいだったが、研修が終わった今は参加して本当に良かったと感じている。英語力を伸ばしたい、海外で働いてみたい、という方だけでなく、夏休みに特に予定がなく有意義に過ごしたい方にもこのプログラムをお勧めしたい。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	海外キャリア実習(ベトナム FPT 大学)
-----	-----------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	就業先で昼食が出なかった
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3000 円	SIM カードを現地で 2 回購入
現地通学費	10000 円	(研修先までタクシーで約 10 分)
教養娯楽費	10000 円	
被服費	20000 円	
雑費	20000 円	
その他	円	例:
合計	113000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 現地にあるレートが良いジュエリーショップで換金した
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
現金しか使えないお店が多い(特にカフェや服屋)ので現金は多めに持っていてよかった。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
SIM カード 2 枚を用意したが全くと言っていいほどネットに繋がらなかった。通信手段を日本から予備として持っていくのはいいと思うが、現地購入の方が安く使用できる期間も長く、ネットへの接続も良好だった。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
インスタントの日本食品、2 枚クレジットカード、多めの現金、銀行のキャッシュカード(現地で引き落とし可能)

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
提携大学からのガイダンスや外務省のメールで情報を確保し、パスポートなどは部屋の金庫に保管して持ち歩かないように注意した。盗難等には巻き込まれなかった。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
現地で購入した SIM カードは良好だった。ホテルの Wi-Fi 環境はよくなかったので携帯のネット共有などを活用して対処した。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 2) 部屋の形態

☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル ☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2 人)

3) 共有部分

☒バス ☒トイレ ☐キッチン(☐自炊可 ☒自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

部屋はかなり広めで快適だった。虫が発生することも多々合ったので、飛行機に持ち込みできる殺虫剤のようなものを持っていくといい。(ゴキブリは出なかった)

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

海外で働くことに興味があったことと、アジア圏に行ったことがなかったので大学 2 年の夏休みを充実させようと思ったことが主な動機だった。また日本とは違う働き方を知り異文化への対応力を身につけたかった。

2)参加するにあたっての目標はありますか。

自分の意見や考え方を的確に伝えるコミュニケーションスキルを身につけて、異文化生活を通して柔軟な適応力を向上する。

3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

教育

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。

日本語教師のアシスタント

2) 主要な実習内容を記載してください。

日本語学校で学習者に対して日本語(文法・構文・単語・発音)などを教える。
大学の日本語クラスで授業を行う。
オンライン授業で日本に住む予定の学習者に日本生活についての知識を伝える。(銀行口座の開設・市役所・部屋の借り方など)
大学の日本語クラブや日本語学校の生徒との文化交流(たこ焼き・海苔巻き作り、浴衣体験など)
発音の録音資料作り

3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。

日本に比べてスケジュール管理がゆるかった。直前の変更が当たり前だったため、初めのうちは柔軟に対応するのが大変だった。仕事内容は思っていたよりも量が少なかった。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

インターンシップ中は職場の現地の人と交流する時間がたくさんあって現地の生活に触れることができた。ただ時間感覚が日本人とは違うので困ることがあった。(時間にルーズなことが多い)

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

柔軟な適応力が身につき、積極的に質問をしてお互いの誤解をなくせるように努力できるようになった。また教育分野でインターンシップをしたことで日本文化を広めることができたことに加えて、英会話力も身につけることができた。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC725

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

英語で映画をみるなど毎日英語を聞いて耳をならした

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

英会話力が向上した。(以前は言葉に詰まるが多かったが、簡単な単語をうまく用いることができるようになった)
積極的に現地学生と会話やチャットをして仲良くなった。英語の授業の時はなるべく日本人ではなくて現地の子とペアになってはなした。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

交通手段に関して日本はバイクを使う機会が中々ないが、ベトナムでは一番ポピュラーな手段でタクシーよりもバイクを呼んで移動するのが面白かった。またタクシーが日本の電車と同じくらいの値段で乗れることも驚きだった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

海外で実際に働くことができるこのプログラムは将来的に海外で働きたい人はもちろん、自分の理想のキャリアがない人にもぜひ行ってほしいと思った。私は参加前後者の方だったが、今回のプログラムをしたことで日本にいてはわからない自分の長所や自分の可能性に触れることができ、自分の新たな一面を知る本当に良い機会になった。来年から本格的に始まる就活の前に自分について知ることができたので自己分析に活かしていきたいと思う。また研修中に大事だと思ったことは自分の向上させたいところややりたいことを明確にすることだ。私の場合はまず英会話能力を向上したかったので積極的に現地の学生と関わるようにしていた。現地の人は本当に優しく気さくな人が多いので英語がうまく話せなくても話しているうちに上達していき、格段に会話力が身についたと思う。英語でプレゼンをする機会もたくさんあったので、初めは大変だったが自信につながり、最後の方は楽しかった。また現地でしかできない体験(食・観光)も積極的にして、現地の歴史や考え方を知り、新しいものの見方を身につけようと意識した。現地ではインドな普段の自分とは真逆の生活をしたが貴重な体験ばかりで本当に有意義な生活だったと思う。特にインターンシップ中はただ働くだけでなく、現地の人と会話や食事したりできたのでコミュニケーション能力を上げることができた。これからこのプログラムに参加するか迷っている人がいたら本当に参加を強く勧めたい。私はこの 35 日間で一生ものの思い出、体験、友達ができたし自分が以前よりも成長できたことを実感している。このプログラムに参加できて本当に良かったと思う。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	海外キャリア実習(ベトナム FPT 大学 2024 夏季)
-----	-------------------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1440 円	SIM2 週間分(空港で購入、残りの日数は ahamo)
現地通学費	1500 円	(研修先まで 10~30 分)
教養娯楽費	2000 円	日本語学校で行ったたこせん作りの材料費
被服費	10000 円	水着等を購入
雑費	50000 円	ツアー代+ハノイ旅行代
その他	40000 円	例:お土産代、スパ、ネイル代
合計	155000 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 5 万円を現地で換金した その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください クレジットカード
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 SIM は空港で 2 週間分購入し、のこりは ahamo で過ごした
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか 耳栓(完全に盲点だったが、ルームメイトのいびきや騒音など、結構悩ましかったので持っていけばよかった) サングラス(普段つけない人でも、暑すぎるのもっていったほうがいい)

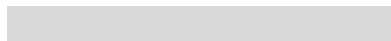
現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) ☒ なし ☐ あり(問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ YouTube などで気を付けるべきことを調べてから行ったが、ダナンは比較的治安が良かったため、特に困ることはなかった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 ホテルの Wi-Fi は若干弱かったが、オンライン授業等は問題なく行えた。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類 ☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	2) 部屋の形態 ☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2 人)
3) 共有部分	

☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
ゴキブリスプレー、マスク、サングラス、耳栓、虫よけ、日焼け止めは必ず持って行ったほうがいいと思います。

プログラムについて プログラム参加前について記載してください
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
自身のセカンドキャリアについての解像度を上げたい(すでに就職活動を終えているため)
2)参加するにあたっての目標はありますか。
自身の殻を破りたい
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
日本語教師

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)どのような業界で実習を行いましたか。
日本語教師(FPT大学)
2) 主要な実習内容を記載してください。
日本語学校でベトナム人ボランティアの学生に会話授業を行ったり、社会人の学生にオンライン上で講義を行ったりした。
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。
インプットとアウトプットの割合について、就業前は半々くらいだと思っていたが、実際はほぼアウトプットだった。かなり放任主義だったため、主体的に行動する必要があった。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
日本語でのやり取りだったため、容易にコミュニケーションが取れると思っていたが、ベトナム人日本語教師の人の日本語が思った以上にわかりにくく、意思疎通が難しかった。 自分でゼロから授業を作るため、Kahoot などのウェブサイトを使うことが多く、使いこなせるようになったのはよかったと思う。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。
日本語教師について具体的なイメージをもつことができた。



英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC735

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

特に行っていないが、英語で開講されている授業を一年生の時から積極的にとっていた。

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

上記と同じ

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

- ・防犯への意識は高く持っていた方がいい(ホテルの部屋でも常にスーツケースのかぎはしめるなど)
- ・いつでも冷たくて安全な水が手軽に買えるわけではない

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は将来、海外に移住してみたいという思いがあり、そのイメージを明確にするためにこのプログラムに参加しました。海外でのインターンであえて日本語教師を選んだのは、自身の英語力に自信がなかったというのも一つの理由ですが、何より「教師として働く」という経験を積むことは、今後卒業して就職したら二度と機会が訪れないかもしれないと思ったからです。私はIT関連の会社に就職するため、このインターンの経験を活かす機会はあまりないかもしれませんが、海外で教師として働くという自身のセカンドキャリアにつながる経験をつめたのは、非常に良かったと思っています。自身の英語力を試したい、実際に英語を使って仕事をしたいという人はこの業界を選ばない方がいいかもしれませんが、ベトナム人日本語教師の人とお互いに日本語を話していても言語の壁を感じることは多々あったので、なかなか面白い経験ができると思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	海外キャリア実習(ベトナム FPT 大学)
-----	-----------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	4万 円	1 食300円で済ませられるが段々満足できなくなって高いものに手を出し始めます
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1500 円	SIM を途中で買い替える必要があります 店によって値段違います
現地通学費	円	(研修先まで 30 分) 徒歩で0 円
教養娯楽費	5 万 円	旅行や現地でのアクティビティ
被服費	0 円	
雑費	1万 円	内訳 ホテルの洗濯サービス5000 タクシー代(GRAB)5000
その他	3500 円	例:お土産
合計	105000 円	正確な数値は出せませんが概算です

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
日本円のクレジットカードから指定金額を換金してドンを直接出すことができますが、少し利子が付きます

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
現地ショップ

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
なし

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
ダナンは本当に治安がいいので危険なことは一切ありませんでした
ただ、ぼったくりはたくさんいるので、路上の商売人や grab 運転手が笑顔で話しかけてきてもしリスクヘッジで全て無視しました
(一度だけ気を許して買ってみたら騙されましたが)

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
問題なく使用可能です

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
---------------	----------

☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2 人)
3)共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
きれいなところでした、少し清潔感は微妙ですがなれます エアコンの温度は調整難しいので風邪ひきやすいです	

プログラムについて プログラム参加前について記載してください	
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。	
海外で働く経験がしてみたかった	
2)参加するにあたっての目標はありますか。	
過半数の人がベトナム語しか使えない環境でしっかりコミュニケーションをとること 専門的なビジネススキルは皆無だったが、それでも出せる範囲のVALUEをしっかり出し切ること	
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。	
マーケティング	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1)どのような業界で実習を行いましたか。	
マーケティング	
2) 主要な実習内容を記載してください。	
市場調査と、プロモーションに関する企業への提案	
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。	
そこまで専門的なことはできません。企業としても来たばかりの外国人にいきなり高度な仕事をやらせることはできないので。	
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。	
Job description と実際の研修内容がずれていた(より簡単な内容になっていた)しかし、私のスキルの的にそれでも十分な内容であった。 職場の人は言語の壁があるなりに温かくコミュニケーションをとってくれたので良かった。	
5) プログラム参加の成果等を記載してください。	
ベトナムというのんびりした国で働く際のイメージがつかめた。 ベトナムのスタートアップ市場に関して知見が深まった。	

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOIEC925 TOFLE95

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

特になし

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

特になし

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

とにかく交通の様子は全く違います。歩行者優先や信号順守の概念はあまりないので、道路を渡る際はバイクが沢山走っていても突っ切して下さい。またサービスもかなり適当です。いらいらしてしまうこともありましたが、そういう国だからと割り切ることが大切です。現地人の性格でいうと、シャイなところなど日本人に似ている部分が多いなと思いました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

1か月のプログラムです。専門的なスキルを得たり、圧倒的な経験をするには正直できないでしょう。しかし海外に長期滞在したことのない私にとっては、1か月以上海外に留まること自体が一つのチャレンジでしたし、英語もあまり通じない文化も全く違う環境で暮らしていく中で仕事以外の部分で学ぶことが多かったです。与えられるものを体験するだけでは不十分です。オフィス内では与えられたタスクをこなすだけでなく発展的な質問を社員にしに行ったり追加の業務を頼んだり積極的に自分からアクションを起こす、実習外においても現地の人にアポを取って話をしに行ったり羽を広げて一人で遠いところ(国を出てはいけません)へ飛行機で行って興味のある体験をしたり、そういった行動が大切です。実習以外の自分なりのセカンドゴールを定めてください。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	海外キャリア実習(ベトナム FPT 大学)2024年夏季
-----	------------------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	42000 円	基本朝食はホテル、平日の昼食は研修先に提供していただいていた
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	2500 円	SIM カード(2週間と4週間)
現地通学費	2500 円	(研修先まで車で5分)
教養娯楽費	53000 円	五行山、バナヒルズ、パラセーリング、フェツァー、チャム島ツアー、ハノイ旅費 (ハロン湾ツアー等含む)、ミーソン遺跡ツアー、遊園地
被服費	9000 円	
雑費	10000 円	クリーニング代、日用品代、マッサージ等
移動費	6000 円	Grub
その他	10000 円	例:お土産
合計	135000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 現地空港で30000円両替し、ハノイで5000円両替。空港だと手数料が多く取られてしまうので最初は少なめに両替し、そのあとレートの良いところで両替するのがおすすめ。

その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

スーパーなどはカードが使えるところが多かったが、ローカルなお店は現金のみの場所が多かったので現金もしっかり必要。カードは一枚ではなく複数枚用意しておくといいと思います。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WIFI)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

SIM カード 空港で購入しました。2週間で切れてしまったので、ホテルの近くで追加分を購入しました。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

ハンガー、割り箸、スリッパ、マスク、日焼け止め、日傘、折り畳み式ポストンバッグ(ハノイ旅行時に使用)、水着、風邪薬

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: 海外旅行保険の窓口(東京海上日動))

特記事項: ハノイ旅行時に帰りの飛行機が欠航になってしまったので、代替の飛行機代が保険適用になるか相談した。

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

貴重品はチャックのついた鞆に入れて持ち運ぶようにしていた。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

SIM によって電話や SMS を利用することができないので、WhatsApp などをインストールしている人にお店の予約をお願いすることが多かったです。インターネットの接続は特に問題なかったです。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類	2)部屋の形態
☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2 人)
3)共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
毎日清掃が入るため部屋は綺麗に保つことができていた。ホテルで提供される水を上手く活用すると節約にもなってよいと思います。日本との仕様、文化の違いに最初は戸惑う方もいると思いますが、直に慣れます。	

プログラムについて プログラム参加前について記載してください
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
昨年度このプログラムに参加した先輩の話を聞いたのがきっかけである。海外で長期間滞在したことがなかったため、夏休みの1か月間という期間は個人的にとっても参加しやすかった。また、語学研修だけではなく実際に現地で働けるということにも魅力を感じた。
2)参加するにあたっての目標はありますか。
日本以外の文化に直接触れ、その生活に自分がどれだけ適応できるかを知る。 なるべく英語を使うようにする。
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
ホテルのフロントかマーケティング

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)どのような業界で実習を行いましたか。
ホテルのフロント
2) 主要な実習内容を記載してください。
基本的には日本人のお客様のサポート(お客様とスタッフの通訳的な役割)を行っていた。また、チェックインの手続きやチェックアウトのお手伝いなど、ホテルのフロントらしいお仕事も行った。
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。
デスクワークなどはほとんどなく、一日中歩き回る必要があったのは想像していたのとは違った。お客様とのコミュニケーションを大切にしていることから、積極的に話しかけるように指導していただいた。若干時間にルーズな点が日本とは特に異なっている点だと感じた。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
良かった点 コミュニケーションを主な仕事内容としているため比較的英語を使う機会は多いと感じた。多くのお客様とお話する中で、自分がなぜこのプログラムに参加したのか、などと自分自身について考えることもできた。また、様々な経験や知見に出会うことができた。周りをみて行動する力もこのプログラムを通して培われたと思う。 悪い点(大変だった点) お客様の少ない時間帯は仕事もあまりないため、退屈と感じてしまう時間があった。 朝が早かったのは個人的に少し大変であった。休憩も昼食をとる30分のみで、約8時間立っていないといけなかったのが体力的に大変な面もあった。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。
通訳をする機会が多かったため、英語を聞いてそれを日本語で要約することができるようになった。またそれに伴って言いたいことを英語で伝える能力は渡航前に比べてかなりのびたと感じている。 そしてプログラム全体を通して、異文化に対する理解を深めることができた。異文化を知り、受容し、その中で生活することができたという経験は自分にとってかなり有益なものとなった。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEFL58
英検準1級

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

大学での英語の授業と、TOEIC の勉強を行っていた。
日頃から英単語帳を読む、英語を聞くようにしていた。

3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

滞在期間中に英語を話す機会というのはバディの人、職場の人と話すときが基本だったため、勤務中などは積極的にコミュニケーションをとろうとした。日本にいるときよりも圧倒的に英語を使う時間は増え、英語を話すことに対する抵抗感は薄れた。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

ベトナムに着いて特に日本とのギャップを感じたのは、交通事情である。とにかく交通量が多い。信号機がないところも多く非常に混沌としており、初めの三日間くらいは道路を渡るのにも大変苦労した。また、交通関連でバイクの交通量の多さも日本とは異なると感じた。Grab でバイクに乗る機会が何回もあったが、なかなか楽しかったので経験として乗ってみるのをおすすめしたい。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

まず、私はこのプログラムに参加してよかったと思っています。日本ではできない経験をたくさんすることができ、この貴重な経験を必ずどこかで活かしたいです。
私自身初日は日本との違いや不安で辛かったですが、二日目からは帰国したいという気持ちはなくなっていました。ホテルや研修先に問題があれば FPT の方が迅速に対応して下さいます。充実した留学にするには周りの方との協力が必要不可欠です。ぜひ周りの人を大切にたくさん良い経験をしてきてください！あと、健康管理は徹底してくださいね。体調を崩してしまうとその期間なにもできなくなってしまうので、。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	海外キャリア実習(ベトナム FPT 大学)2024 年夏季
-----	-------------------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	60,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	2,400 円	現地で SIM カード 1 ヶ月分(約 2,400 円・7GB/日)を購入
現地通学費	10,000 円	(研修先まで 10 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	
雑費	50,000 円	
その他	10,000 円	例:
合計	132,400 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 現地の携帯ショップで換金しました。空港でも換金してくれますが手数料を多く取られるのでオススメしません その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードが使えるお店が少ないので半分以上の会計は現金で支払っていました。大手のコーヒーチェーンや観光客向けのレストランであればカードが使えるお店もありました。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Vinaphone という会社の SIM カードを現地で購入しました。1 日あたり 7GB で 1 ヶ月使えて 1,200 円だったのでかなりお得だったと思います。他の携帯会社で買った知人に聞いても料金は同じくらいでした。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
シャンプーとボディードープはアメニティにあったのですがコンディショナーがなかったので持っていくべきだったと思いました。かなり汗をかくのでボディークリーム、制汗シートや除菌シートなどがあると便利だなと思いました。ビーチアクティビティの選択肢が豊富なのでダナンに来るなら水着も必須だと思います。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
昨年に同じ場所に渡航されていた方の報告書やネットでの記事を見ながら情報を収集していました。盗難等の犯罪に巻き込まれることはありませんでした。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
観光地なのでビーチに近づけば近づくほどレストランやホテルなどの Wi-Fi の選択肢がかなり多くなります。ただ FPT 大学が少し離れた所にあたり、勤務地も場所によっては都心部から離れる可能性もあるので SIM を購入された方が良いかと思います。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
Gemma Hotel に滞在する場合キッチンはないので自炊は全くできません。アメニティのうちタオルと水のペットボトルは毎日交換、シャンプー・ボディソープはなくなったタイミングで交換、シーツは 1 週間に 1 回程度の頻度で交換してくれます。お風呂は部屋によって構造が違って、バスタブ付きの部屋とシャワーブースのみの部屋があり、どこに泊まれるかは運次第です。鍵はオートロックのカード式で 1 個しかもらえなかった場合は受付に言えばスペアキーを渡してもらえます。洗濯はフロントでもお願いできるのですが高いので近くにある地元のコインランドリーにお願いした方が安く済ませられます。	

プログラムについて プログラム参加前について記載してください
1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
これまで英語圏での留学経験はあったものの、英語が通じない地域かつ東南アジアでの留学経験がなかったため、新しい領域に踏み出してみることで自分が将来選べる選択肢の幅を広げていきたいと考えていました。生活をする上での食事やインフラに加えてインターン経験を通して現地の文化を体験する中で、実際に東アジアのような地域で将来自分が仕事をするとなった時にやっていけるのか、自分の性に合うのかを実体験を持って確かめたいという思いがありました。
2) 参加するにあたっての目標はありますか。
東南アジアでの労働環境、労働文化を把握することです。このプログラムでは実際にベトナムの現地企業で就業体験ができるため、実際に働いているベトナム人の人との繋がりを通して現地での職の探し方、働く環境、文化を知れるこれまでにない機会だと考えていました。そのため、このプログラムでは日本での労働環境と比較して職探しの難易度は高いのか、働く環境は健全なのか、実際に働いている人の文化・国柄はどうなっているのかを把握することを目指していました。
3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
コンサルティング業界の中でも東南アジアのインフラに関連した事業で働きたいと思っていました。小さい頃から乗り物に興味があり、ハード面でもまだ数十年前の日本製車両が現役で使われている東南アジアのインフラには大きな発展可能性があると考え、東南アジアのインフラを発展させる仕事に関わりたと思っていました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1) どのような業界で実習を行いましたか。
インキュベーターという現地の起業家を支援する業界で実習を行っていました。
2) 主要な実習内容を記載してください。
リサーチを 2 種類、2 週間ずつに分かれて行っていたのと、現地企業が主催しているスタートアップ向けのピッチコンテストに運営として参加させていただきました。リサーチは 1 つ目がダナンのスタートアップの現状について SWOT 分析を行った上で、その企業に対してインキュベーターであるインターン先の企業がどういった支援をできるのかを提案する、という内容のものでした。2 つ目のリサーチはインターン先の企業が既に行っているビジネスモデルに加えて、他の業界の起業家(=顧客)を獲得するために有効となる新たなビジネスプランの提案を行うというものでした。
3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。
仕事内容としてはイメージしていた顧客とのコミュニケーションや社内ミーティングといったものではなく、基本的に個人作業でのリサーチや資料作成がメインでした。社内コミュニケーションという面でもこちらから話しかけない限りは良くも悪くも放任スタイルでの仕事だったので、積極的に話しかけに行くことが重要だったと思っています。 日本との違いでいうと昼寝の文化が大きかったと思います。インターン先は 12:00~14:00 が昼休みで、この時間のうちに各自で食事をとって食後から 14:00 まで昼寝をするスタイルの企業でした。郷に入っては郷に従えということで昼寝をしてから午後の勤務に入るのですが、頭の冴え方や集中力の持続する時間が段違いに長かったので昼寝の文化は日本にも取り入れてほしいくらい素晴らしい文化だなと思いました。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

良かった点としてはリサーチの業務を通してダナンのスタートアップが置かれている現状を把握できたことです。ダナンはベトナム第3の都市ということで渡航前までは日本でいう東京、大阪に次ぐ名古屋くらいの立ち位置だと思っていました。ただリサーチをしていく中でダナンの企業数や人口などを見てもベトナムの二大都市であるハノイとホーチミンに比べて 1/10 程度の規模の都市であり、まだ上位 2 都市とはかなり差をつけられているということを認識することができました。加えて、ダナンはリゾート地で観光業に力を入れていることから、政府機関が集結しているハノイと民間企業が密集しているホーチミンとは経済状況も大きく異なる地域であることを認識することができました。

悪い点としては、実務経験がほとんどなかったことがあげられます。同じプログラムでもホテルなどが勤務地の場合は勤務初日からフロントに立って受付をしているような人もいたのですが、この企業では就業期間のほとんどが自分 1 人で完結するリサーチ業務(自主学習)だったため、現地の職員と何かのプロジェクトと一緒にやったりミーティングに参加したりという経験はできませんでした。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

勤務日数が祝日などの兼ね合いで 20 日にも満たないため定量的な成果を出すことは難しかったです。定性的な成果としては 2 つのリサーチを通して上司の方から「これまで受け入れた日本の学生の中で最も良い内容のプレゼンだった」と言っていたことは大きな成果になると考えています。日本にいた頃にビジネスコンテストや長期インターンの経験があったため、それを活かしたりサーチとプレゼン資料の作成を通して、流れを意識した資料作成や各ページのレイアウトなどで今回与えられた課題に対するプレゼンのアウトプットを出せたことが微力ながら今回のプログラムにおける定性的な成果になると考えています。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEFL IBT 82 点
TOEIC IP 925 点

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

英語のリスニングや単語を YouTube など勉強したことに加えて、ベトナムで必要となりそうな日常会話のフレーズなどもネットで検索した記事などを頼りに勉強していました。

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

ベトナムの方の英語は人によってかなり強い訛りがあったので、うまく聞き取れなかった時には躊躇わずにもう一度言ってもらようお願いをしたり、それでも聞き取れない時はスマホを使って文字を打ってもらったなどの努力をしながら現地の英語の発音に対応できるようにしていました。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

ベトナムのダナンに残っている人々の仕事に対する優先順位の低さが印象に残りました。ベトナムは著しい経済成長を遂げている最中である一方で賃金が安く、平均年収は 100 万円にも満たない国家です。そのため優秀な人材はベトナムの中だと賃金が高い傾向にあるハノイまたはホーチミンへの移動や、更なる機会を求めて海外移住してそのまま戻らないというパターンが多そうです。そのためダナンに残っているのは経済的な理由でダナンを離れることができない人やキャリアでの成功よりも労働時間外の自由を優先したフリーランスの方などが多く、血眼になって稼ぐことよりも自由時間をのんびり過ごすことを優先している人が多いように感じました。実際、現地企業で勤務されている社員の方も仕事が終わっていても定時には退社される場合がほとんどで「どれだけ働いても賃金が安いから働く意味がない」ということを仰っていましたし、ベトナムは東南アジアの中でもぶっちぎりでフリーランスの割合が高い国であることから、仕事よりものんびりとした時間を優先される方が多い地域なんだなということを身をもって実感しました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

ベトナムは非英語圏の国であり、英語を全く話せない人や訛りが強く聞き取りの難易度が高い人などが一定数いるため、英語力の向上を目的として留学を検討している場合は正直ベトナムという国は適さないと思います。ただベトナムはアジア圏ということで日本に近い文化が多く、特に食事面では米が主食で日本料理のお店なども多くあるため、初めて海外生活をされる場合や異国の文化を体験してみたいという場合には最適な国の 1 つだと思います。中でもダナンは観光都市であるため比較的治安が良く、夜中に女性や子供が 1 人で歩けるくらい安全な街です。交通量が多いのでそこにさえ気をつければ物価が安く、観光地も多く、食事のオプションも豊富な街なので、5 週間飽きることなく色々な場所に行って生活を満喫できる場所だと思います。

研修については勤務日数が 20 日にも満たないのでそこまで大きな仕事ができないことや専門的な知識が得られない可能性があることは事前に考慮しておいた方がいいと思います。ただしその中でも現地企業に実際に赴いて勤務ができることや現地の社員さんと仲良くさせてもらえることは貴重な経験だったので決して無駄にはならないと思います。それぞれのプログラムにおけるメリットやデメリット、自分がやりたいことや興味があることを比較しながら自分が本当に行ってみたいプログラムを検討していただけると良いかなと思います。

ベトナムでの生活は以下のリンクにもより細かい内容をまとめてあるので、渡航を検討されている方の参考になれば幸いです

<https://note.com/polarisugi/>